

防災・減災・防犯対策を加速せよ



つとむ 努

公明党
なかむら
中村

その他の 質問事項

- ▼ 大川小学校津波訴訟からの教訓
- ▼ 聴覚・言語機能障がい者の119番通報

◆国土強靱化地域計画

問 大災害が相次ぎ、事前の備えが必要だが、公共事業が縮小される中、財源確保の観点からも計画が必要であるがどうか。

答 国土強靱化関係の補助金等に対し、計画の策定を条件に予算配分の重点化、要件化する指針案が国から示された。策定に向け準備を進めていきたい。

◆河川水位の見える化

問 今年の台風では被害に備え、早めの避難が呼びかけられた。市内には、奈良井川琵琶橋と長瀬に水位計が設置されており、田川、小曾部川、矢沢川に今後設置との事。日頃から、市民が河川の水位が観測できるよう他の危険河川に水位を表示するペイント塗装をしたらどうか。

答 視覚的に水位が分るようしておく事は、事前避難において大切なこ

とと考える。しかし、危険時に、住民が見に行ってしまうことは避けたいので水位監視カメラの設置とともに検討したい。

◆防犯灯の無料化

問 防犯灯の設置、電気料、LED化は自治会任せでは負担が大きすぎるし、区民だけのものではない。市の施設として位置付け、信州Fパワアの電力を充て、区等の負担を無くすべきだ。

答 木質バイオマス電力の一部を防犯灯に充てる事は、地域に還元する意味で分りやすい。森林公社の電力買取状況、売電利益の見込みを踏まえ、地域還元について検討する。



琵琶橋水位計

食品の無駄を無くす市民運動を



新政会
よこざわ
横沢 英一

その他の 質問事項

- ▼ ファシリティマネジメントの進捗状況は？
- ▼ 台風被害から学んだこと

◆食品ロス削減推進法の遵守について

問 廃棄食料を減らすための法律が本年10月より施行された。市内の年間食品ロスはどのくらいあるのか。また事業所や消費者に、どんな取り組みを考えるのか。

答 平成28年度に環境省等が実施した推計を基に、市内の家庭から排出される食品ロスは801tと予測される。事業系の発生量は掴んでいない。食料を無駄なく利用する調理方法や、食品ロスを減らす工夫を市民の皆さんに周知・啓発し理解と関心を深めたい。

◆鳥獣害対策について

問 猿害対策で、猿は群れ単位で移動し、移動距離は10km以内との事、雌猿に発信機を付け、GPSを利用し常時監視し駆除にも役立つ、導入の考えは。

答 発信機を付けた群れ



発信機を付けた猿

の監視と、檻との組み合わせにより一斉捕獲が可能になる等、相乗効果が期待される。地域・猟友会等の協力いただければ、今後検討したい。

◆保育園の業務効率化は

問 RPAによる業務効率はどうか。

答 総務省の補助金を受け、入園業務等に導入したことで、大幅な業務時間の削減が可能との検証結果がでた。昨年の申請から電子申請も取り入れた。一次受付は、1850件の内97%が電子申請で提出され、期間も1ヵ月要したものが3日で処理が出来た。今後は庁内での汎用を進めたい。